

会 長 橋本正巳
 新潟県山岳協会
 上越市南城町2-3-37
 TEL 025-524-7215

事務局 諏訪恵一
 長岡市高畑町610-10
 TEL 0258-35-4373

編 集 新山協ニュース編集
 委員会代表 浅野亘寛
 TEL 0258-52-3998

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

第40回自然保護研修会報告

自然保護委員長 本間 一人

第40回自然保護研修会が6月25日(26日、栃尾市の刈谷田川ニューホテルで行われた。20年40回という、記念すべき研修会に日本山岳協会の自然保護委員長の若月東兎氏、副会長の浅見 豊氏、講師の藤井謙昌氏一行19名を迎えて総勢75名の参加となり、過去になかった参加者で主催者としてはうれしい悲鳴となった。又、来賓には地元市長で新潟県山岳協会顧問でもある、馬場潤一郎氏もかけつけられ歓迎の挨拶をいただいた。今回の講演は、日本山岳協会より藤井謙昌氏による「地震と地質」と、当協会の理事長、片桐一夫氏の「中越地震時データ解析」ということで、お二人とも地震の話となった。冒頭、当協会の橋本会長より7・13水害で被災された方々、中越地震で被災された方々にお見舞いの挨拶があり、又、自然保護委員会を取り組んだ、雪掘ボランティアの活動が報告された。つぎに日本山岳協会を代表して若月東兎氏の挨拶



日本山岳協会 藤井謙昌氏の講演

になり、訪問の経緯として、中越地震のお見舞いと同時に、新潟を訪れ地震後の新潟の山がどのようになっているのか、全国に発信しているところ、ということで橋本会長に申し入れたとのことで、訪問の動機を話されました。また、トイレ問題についても国会でも話題になるなど真剣に考えられて、新しい息吹きが感じられる。現地に入っている我々には、実情を訴え、PRするとともに、それぞれの立場で自然保

護への活動を続けなければならぬ、という力強い挨拶がありました。最初に藤井氏からの話しは地震と地層の話であったが、なかでも最近のスマトラ沖の地震はプレート型の典型的な大型のもの。中越地震は活断層で地質と地下水の関係は地震の大きさに密接な関係があるとのこと。3000ヶ所もあるという地滑り地帯にあって芋川周辺が多く、なかでも関心事は養鯉池と地下水の関係で、重要な地元産業ということもあり、どのような対策がとれるだろうか。全国に国土地理院のGPSが12000も設置してあり、出雲崎では4cm、柏崎で12cm、守門では21cm動いたという。

わが片桐理事長の話の内容は、各地の座標が何センチずれたかGPSによる調査から「どうだろう」に於いて東経138度52.2分、北緯37度17.42分、深さ13kmで発生、速度2515ガルと云うとんでもない速さなのだそう。我々には単位はよく分らないので、手で物が落ちる速さを話してくれた。そしてふたりとも東海、南海、関東の地震が50%の確立で極近年に発生するといっていたが、7月に関東地方を震度5弱が襲った。たいし

た被害は出なかったものの、交通パニックは大変なものだ。日本の危機管理は本当に大丈夫なのだろうか? 26日は6時移動で守門岳登山(二分口)へ。天候は申し分ないが道々7・13水害の爪跡と地震の爪跡が痛々しい。ライフラインが最優先されているため山間は完全復旧は遠い先になりそうだ。登山口のトイレは最近新設された水洗で理想的なもので、各地に設置して欲しいものだ。およそ3時間半で青雲に全員集合、好天のなか山頂に行く者、缶ビールで喉を潤す者、楽しい交換登山となった。次回会場は10/15日(10/16日グリーンパークぶなの森(キューピットバレー)の予定です。多くの参加者をお待ちしています。



片桐一夫氏の講演

自然保護に思う

一峰会 遠藤 俊一

今日もまた、晴れている。今頃は梅雨空の鬱陶しい日々が例年のことであるが、今年

はちよっと様子が違う。梅雨の季節なのに、雨の降らない好天続きの毎日である。こんな気象も地球温暖化が影響しているのだろうか。昨今は、晴れたら暑く、降ったら大量の雨や雪、風が吹いたら強くというように、どうも気象の現れ方が激しいようだ。

森林の破壊や、砂漠化、大量のエネルギー消費等を与えている影響は、この地球の将来にどんな結果をもたらすの

だろうか。地球の神は、自然還元のため、もうリセットキーを押したのだろうか。

我々が、山登りで山から貰っているものは、オゾンであったり、英気であったり、金銭に換えがたい大きなものだ。しかし、山に何を与えているのだろうか。貰っているばかりで、与えるものは、何も無い。むしろ、山の破壊に、加担はしていないだろうか。

数年前の夏、守門岳へ登った。稜線の草原と池糖付近は、大変魅力的な場所であるが、格好の休憩場所と化して、多くの登山者に、草原は踏みつけられていて

るではないか。近年の旅行社のツアー登山は、大勢の人たちを一時に同じコースを歩かせるという

ことで、オーバーユースの問題を引き起こしているのではないか。自然保護を看板にしているが、商業主

義の山小屋も、問題だ。昔は、身のないカレーライス程度の食事であったが、食生活の豊かさが山小屋にまで及び地上と変わらないご馳走が並び、生ビールまで競って販売して、登山者の取り込みを図っている。これらの荷揚げでヘリコプターからは、どのくらいの排気ガスが出ているのだろうか。粗末な食材だけであれば、荷揚げ量も少なく、排気ガスは、どの程度減少するのだろうか。当然、排出されるごみも少ないはずだ。美味しいものは、山を降りてから食べればよいと思うが...

尾瀬の山小屋のように風呂を沸かしているのも問題だ。いくら水が豊富でも、山小屋に風呂はいらない。たまには、自然の中で、野生に還って、過ごすのも良いものだ。

歯磨き材を付けて歯磨きをする人も増えた。水が、汚染するから、歯磨き材は付けないが、マナーだったが、今はそんなことおこまいなしだ。

また、山菜ブームで、登山道沿道の、こしあぶらの木やたらの木は、かわいそうにも丸裸にされていることが多い。そもそも、山登り自体が、自然破壊の始まりだと認識できているだろうか。破壊は、

登山道が作られることから、始まるように思われる。その道は、登山者によって踏みつけられ、露地をさらし、終には、雨に削られ、雪水に破壊され、最近では、ストックにまで、痛めつけられ、大きな溝を作ることとなる。一旦破壊された自然は、なかなか元には戻らない。壊さないように、気をつけながら登りたいものだ。

新潟県山岳協会では、自然保護の普及や、各山岳団体の自然保護への取組状況を問うて、自然保護に力を入れていく。その任についておられる方々の労に感謝申し上げる。

しかし、あまりにも広範囲に、自然を無視して、いろいろな破壊がおこなわれている。私自身としても小さいことでも、機会をとらえて実践して行くしかないかと思う。

山だけでなく、地球規模で行われている自然破壊に、人類は、いつかはきつとっぺ返しを食らい減び行くのであろうか。そして、人類という破壊者が居なくなった後に、又豊かな自然が復活するのであろうか。そんな減び行く時代が来ないことを願って、微力ながら自然環境保全に心して、山登りを楽しみたいと思っている。



守門岳に咲くニッコウキスゲ

自然保護を看板にしているが、商業主

自然破壊の始まりだと認識できているだろうか。破壊は、

山登りを楽しみたいと思っ

登山・アウトドアの専門店

ICI 石井スポーツ

新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025) 243-6330(代)

登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200 FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>



外帯石灰岩の露頭越しに見る、ジュラ紀推積岩の剣山

山と岩石

さわがに山岳会 小野 健

④5 深田百名山の地質展望⑧

百名山の地質展望は、今回の四国2座・九州6座をもって終章とします。

四国剣山は、ジュラ紀の石灰岩を含む推積岩で、四国カルストとも呼ばれる。溶蝕地形が発達し、石鎚山は新第三紀推積岩で四国の最高位に在って久しく女人禁制の霊山であった。

九州地区は、祖母山が第三紀安山岩で、九重・阿蘇・霧島・開聞の4座が第四紀火山群の溶岩より成る。いずれも、鐘状火山や複式コニーデ型火山で、有史以来噴火を繰り返してきた。霧島火山群は、韓国岳を主峰とし、山腹のコケモモやヤマキリシマは天然記念物に指定されている。わが国最初の国立公園に指定され、阿蘇山頂には火山博物館もある。開聞岳はコニーデ型の秀麗な火山で、九州最高峰の宮之浦岳は新第三紀花崗岩から成り、縄文杉で代表される屋久杉が有名である。

このように、深田百名山の約半数が新紀火山で生成されているが、各地の有名無名の山々にも豊かな個性があって、それぞれその存在価値を誇っているのだ。

美と道具の変容 ピッケル展が開催される

本紙第206号にて企画を紹介した、ピッケル展が主催関川村
美と道具の変容
ピッケル展が主催関川村
銘の品でも、心ある岳人が多
目にする逸品も多い。特に無
内外の名品の他、初めて聞き、
を忘れるほど興味は尽きない。
観点で鑑賞すると時間の経過
である「美と道具の変容」の
歴史とみちの
館」。ピッケ
ル展のテーマ

分、地元の職人に造らせた、
越後の山に適應できる品々に
は、目を奪われる。国内外の
愛蔵された、逸品たちは豪壮
で華麗でさへあった。使い込
まれてはいるが、心掛けの良
い武士の差料のように手入れ
の行き届いた展示品には、つ
いつい足がとまる。内外を問
わず、ピッケルの使い方の方
向によって、ピッケルの角度と
シャフトのバランスの絶妙さ、
無駄を省いた形状の変化には、
道具を越えた美しささへ感じ
る。展示ケースの傍らある、
何点かの鉋も、名工の手に扱
る作刀のように、冴えた光芒

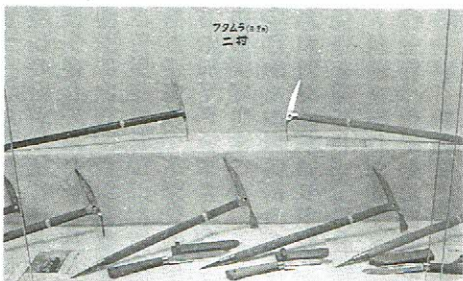
**美と道具の変容
ピッケル展**

ピッケルはドイツ語をアスピックル(Eis pickel)といひ砕氷杖といふ意をもち、ヨーロッパの氷河を登る道具だ。日本では古くは金剛杖が山に用いられ、頭部に斧状の金具をつけて歩かせる管状の杖に似ていた。それが日本にヨーロッパの登山者が入り、日本の職人によりピッケルが製造されるようになった。今はヨーロッパの模倣から日本製の美意識の追求となり、金具の柄にならざるは機能主義に変わっていった。

ピッケル展は、県内外の匠人が手掛けた逸品がある。

2005. 8/31 ~ 10/16
せきかわ歴史とみちの館 下層151号
主催 関川村教育委員会
主管 関川村山の会

教育委員会、
関川村山の会
の主管で、8
月31日～10月
16日の日程で
開催されてい
る。展示会場
は「せきかわ
歴史とみちの
館」。ピッケ
ル展のテーマ



を放って、なかなか気になる存在だった。

▼念入りに点検する平田大六氏



問い合わせ 関川村下関1323
◎せきかわ歴史とみちの館
(月曜休館、確認して下さい)
Tel 0254-64-1288
会報編集委員会 浅野巨寛

海外・国内旅行、主催・手配

JUMPING TOUR **ユニオン航空サービス**
国土交通大臣登録旅行事業053号・IATA代理店 社、日本旅行業協会会員
本社 新潟県長岡市東町1丁目3番5号

http://www.uks.co.jp

□長岡営業所 〒940-0004 長岡市東町1丁目3番5号 ☎ (0258)33-7123
□新潟営業所 〒950-0916 新潟県長岡市3丁目2番11号 ☎ (025)246-2266

(社)日本山岳会創立100周年
記念祝賀会開催される

100周年記念の最大の事業として、日本中央分水嶺踏査が行われた。越後支部も平成16年の4月から踏査を初め、今年の6月12日に最後の区間、三国峠～平標山を満開の石楠花の洗礼を受けながら踏査して、越後支部担当区間を無事完踏。感激の美酒を酌んだとの報告はまだ耳新しい。

今回の祝賀会は9月17日～18日の日程で関川村の関川村民ホールが会場となり、中部日本ブロック祝賀会「静岡、山梨、信濃、越後の各支部」として開催される。

記念講演、講和として、「フォッサマグナ学(仮称)」を、小野健氏が、「ピッケルづくりに人生」を二村善市氏が講演される予定で、興味つきない話しが聞けそう。記念登山の朴坂山(438m一等三角点)、関川村観光などの催しも計画されている。

会報編集委員会 浅野巨寛

お願い

◎国体カンパのお願い

第60回 岡山国体が10月23日～26日の日程で開催されます。選手、監督、コーチとも一体となって現在練習に精進しています。県体育協会より選手強化費(助成金)もありますが、現地での費用、合宿費にも相当の出費が見込まれています。選手への激励も含め皆様のご支援を宜しくお願い致します。なお、カンパは一口、五千円で次の口座にて受け付けておりますので、宜しくお願い致します。また、既にカンパを戴きました皆様には紙面を借りて厚くお礼を申し上げます。

新潟県山岳協会

会長 橋本 正巳
事務局長 諏訪 恵一

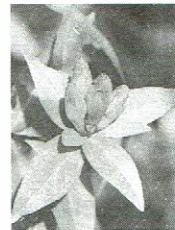
(郵便振替)

名義 新潟県山岳協会
口座番号 0066501

8112040

尚、ご面倒ですが、振込の際、他の入金との区別の為、国体カンパの旨、記載して頂き度くお願い致します。

行事案内



2005年度 婦人委員会
親睦登山のご案内

昨年の中越大地震によって、中止を余儀なくされた、婦人委員会親睦登山「銀の道」が今年、再度計画される。多数の参加をお待ちします。

◎2005年10月2日(日)
7時30分集合。16時頃解散

◎目的地 湯之谷 歴史街道「銀の道」石抱橋(明神峠) 駒ノ湯吊り橋迄6時間十休憩

◎集合 銀山平 石抱橋付近

●到着次第下山口への車移動がある為、時間厳守。

◎参加費 ¥600当日徴収。

◎申し込みは各所属団体配布の申し込み用紙にて郵便またはFAXにて9月26日迄左記へお願い致します。

〒95010912

新潟市南笹口1-8-63-705

山田 智子宛

Tel&Fax 025-244-7959

◎その他10月1日夜宿泊を希望の方は9月15日迄連絡を、お願い致します。

望の方は9月15日迄連絡を、お願い致します。

●伝之助小屋 ¥7,950

(一泊二食付、税、入浴代込) 尚、男性会員の参加大歓迎 婦人委員長 山田智子

2005年度親睦登山
(糸魚川 駒ヶ岳)の
ご案内

日頃、県山岳協会の事業について、参画して頂き、格別なご支援を賜り有難うございます。今年の夏の水害で被害に遭遇された会員各位に対し、心よりお見舞い申し上げます。また、酷暑と気忙しい喧騒の中から抜け出し「本当の山登りの楽しさを味わえる山」に山行された会員の皆様ご苦勞様でした。左記の協会岳人が集う、親睦登山に多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

◎目的 加盟山岳会の岳人と和気あいあいの中に至福の時を過ごし、山岳会相互の親睦を図りたい。

◎主催 新潟県山岳協会

◎主管 新潟県山岳協会総務委員会

◎協力 いろいろやま岳友会

◎日時 10月29日(土) 15:00受付 16:00開会、講演、(糸魚川フォッサマグナミュージアム学芸員) 17:30閉会 18:00懇親会 10月30日(日) 5:30起床 6:30移動 7:30駒ヶ岳登山口(三峽口) 11:30頂上 15:00登山口にて解散

◎持参品 シェラフ、食料、食器、嗜好品、登山用具

◎参加費 ¥1,500

◎申込み 各団体にて取りまとめ、お申し込み下さい。

〒94310154 上越市稲田4-12-31
Tel&Fax 025-523-7661

◎締め切り 10月25日 新潟県山岳協会
会長 橋本 正巳
総務委員長 七沢恭四郎

◎「新山協ニュース」を直
接お届けします。

ご希望の方は、郵便番号、住所、氏名、電話番号、所属団体名を明記の上、50円切手24枚(1年分)を添えて左記までお申し込み下さい。

【申し込み先】

〒94010221 浅野巨寛方

〒94010221 浅野巨寛方

〒94010221 浅野巨寛方

〒94010221 浅野巨寛方